

# おっぱい通信 第3号

テーマ

放射性物質と母乳について

Q. 母乳を飲ませています、子どもに母乳をとおして影響はあるのでしょうか？

A. ニュースを聞いて母乳をあげ続けると子どもに放射性物質を与えることになるのではないかと不安になりますね。

まず、授乳中のあなたにどのくらい放射性物質の危険があるかを調べてみましょう。避難・屋内待避区域外では、大気を吸ったり水道水を飲んだりすることによってあなた自身に健康被害が起きないといわれています。

次に母乳のなかにどのくらいの量の放射性物質が出るかというデータを見てみましょう。放射性物質の母乳への移行を推定した報告があります。それによると、母親が経口摂取した放射性ヨウ素は4割、セシウムは3割程度が母乳に移行するといわれています。

放射性物質は母乳中で、母親が摂取した量と比べ減少します。現時点では、母乳育児中のひとは母乳育児を継続することが勧められます。

Q. 母乳中に放射性物質が検出されている方も、授乳を続けることができますか？

A. 厚生労働省による放射性物質濃度に関する緊急調査で、今回（5/18～6/3）検出された放射性物質は「微量」です。この程度の濃度であれば、通常の授乳期間、授乳を続けても、お子さんの健康に影響することはありません。

母乳には栄養面をはじめとして感染防御等人工栄養には見られないさまざまな利点があります。今回の調査で放射性セシウムが母乳中に検出された方についても、引き続き、普通どおりの生活を行っていただいても問題ないといわれています。検出されなかった他の地域の方については、当然授乳に問題はありません。

今回掲載しました Q&A の内容はすべて、日本ラクテーション協会や日本医学放射線学会・日本産科婦人科学会・日本産科医会・日本周産期新生児医学会・日本小児科学会・日本放射線専門医会・医会が発表しているものから抜粋しました。詳しくはHPをご覧ください。

